

# 「かわせみ会」便り

## 令和7年 5月号 俳句を楽しむ会

R7年5月11日



### ”季語刻変秀句”

【3月度】 ”薄日差す水面の下に春潜む” (5人選句)

【4月度】 ”鳥一声木々を貫き春を呼ぶ” (4人選句)

3月に5人選句が出ました。

春はもう少し先 冬の名残の寒さを感じられる早朝の模様

### 3月度の詠句

皆さんの投句をお待ちしています!

### 4月度の詠句

- を
- ・ 桜観ず突如去り逝く友悲し
- ・ 芽柳を風のくすぐる川辺かな
- 風
- ・ 彼岸入るだれに託せば墓守
- ・ 睦道に土筆背比べ春の風
- ・ 梅古木開花で示す自己主張
- ・ 音澄んで底の見えいる春の



- 月
- ・ 君と行く竹林の奥初音聞く
- ・ 渡月橋渡り終えるや孫笑顔
- ・ 感触の柔き足裏や若草野
- ・ 芝桜畔を映えだす癒し色
- ・ 落ち椿道端並べ惜しむかな
- ・ 朝日浴び川に写せる菜花かな
- ・ 故郷で兄弟夫婦春うらら
- ・ 見上ぐれば雲に溶け込む春の

### ◆ 写真を見て一句

#### 【3月】雪

- ・ 手のひらですぐに溶けゆく名残雪
- ・ 大屋根の眩し日裏に雪残る
- ・ 春雪をかぶりて来たる送迎車
- ・ 雪解けの焼け山肌や新芽待つ
- ・ 日もすがら炬燵に夫婦雪降る日



#### 【4月】鳥

- ・ 散り初むる堤の桜惜しみけり
- ・ 大空を蹴って雲雀の急降下
- ・ 花桜枝から枝と飛ぶ目白
- ・ 春禽の声の降りくる窓辺かな
- ・ 軒下の巢から顔出す燕の子



会員の皆さんへ  
気軽に投句を!  
待ってまーす